

事業計画と予算のあらまし

令和2年2月18日に第199回組合会が開催され、共済組合の令和2年度事業計画および予算が議決されましたので、その概要についてお知らせします。

短期給付に係る掛金率は、医療費や高齢者への納付金により損失金が発生する見込みも、積立金を活用し、掛金率は据え置くこととしました。

介護保険に係る掛金率は、介護納付金の算定方法の見直しに伴い増加することが予想されるため、0.71%引き上げることとなりました。

福祉事業に係る掛金率は、据え置くこととしました。



組合の概要 (令和2年度末)

● 所属所数

市	11
町	8
一部事務組合等	15
合計	34

● 組合員数

一般組合員	12,146人
(うち特別職)	(45人)
市町村長組合員	16人
特定消防組合員	1,453人
長期組合員	1人
市町村長長期組合員	3人
継続長期組合員	1人
任意継続組合員	115人
合計	13,735人

● 被扶養者数

10,915人

● 平均標準報酬の月額

短期	376,672円
長期	362,199円

標準報酬の月額および標準期末手当等の額と掛金、組合員保険料との割合

(単位:%)

区分	短期給付掛金率	介護保険掛金率	厚生年金保険組合員保険料率	退職等年金掛金率	福祉事業掛金率
一般組合員 市町村長組合員 特定消防組合員	47.52	8.10	91.50	7.50	2.16
長期組合員 市町村長長期組合員	2.35	—			—

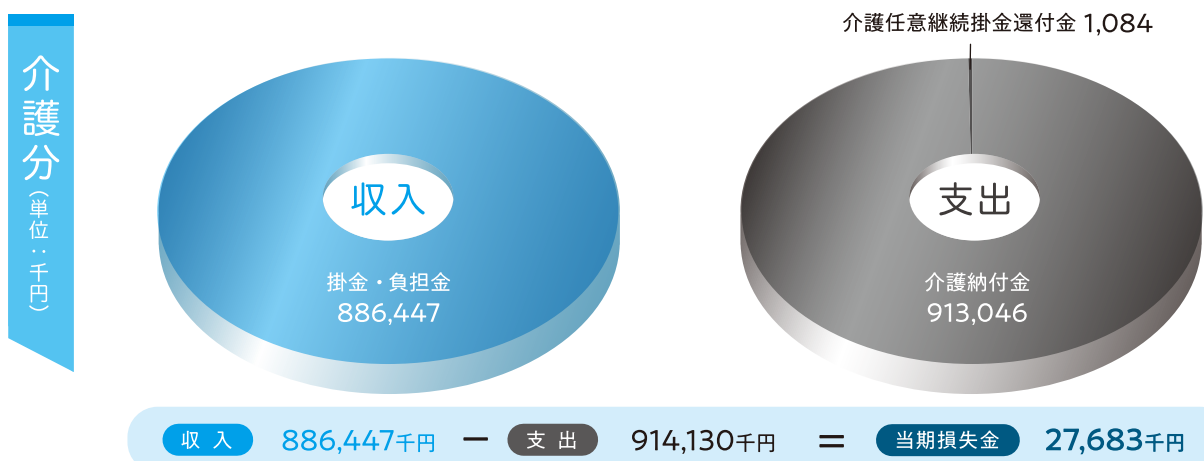
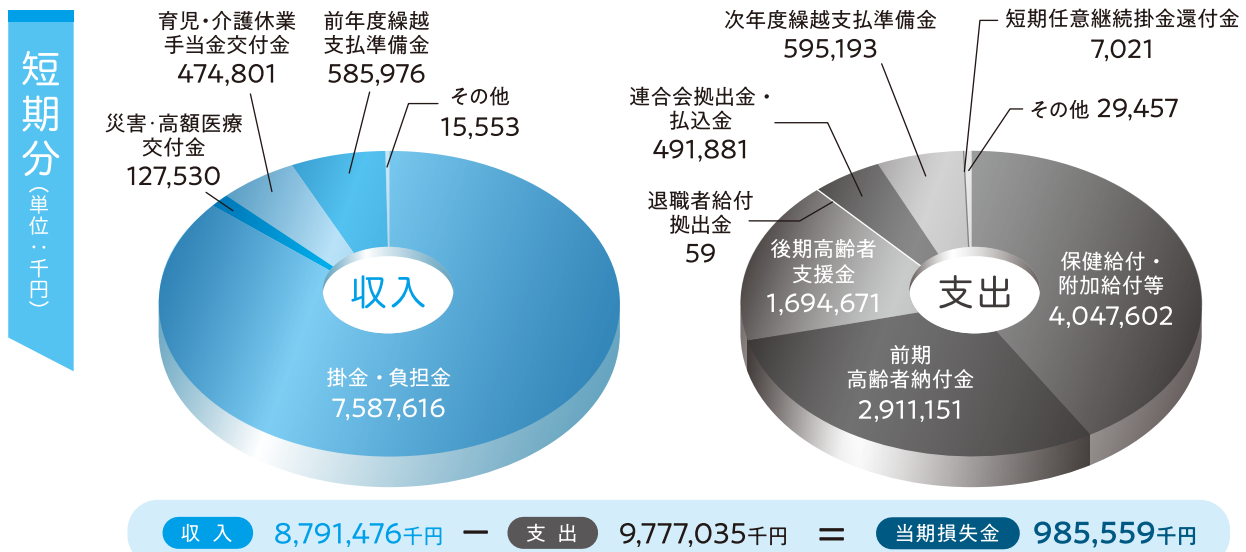
※介護保険は、40歳以上65歳未満の組合員が対象となります。 ※厚生年金保険は、70歳未満の組合員が対象となります。

短期給付事業

組合員とその家族(被扶養者)の医療費の総額が約35億円と依然として高水準であり、さらに前期高齢者納付金が対前年で12億4千万円余りの増加となったことから、財源率を据置とした場合、約9億8千万円の当期損失金となることを見込まれますが、生じる損失金につきましては、積立金を取り崩すことといたします。

また、介護保険については介護納付金の算定方法の見直し等の影響から年々支出額が増加しており、財源率の引き上げが避けられない状況となっております。昨年度に続いての引き上げとなりますが、収支は約2千8百万の当期損失金が生じる見込みとなっております。

このように、短期・介護の財政状況はますます厳しいものになると予想されますが、社会保障制度全般の動向に注視しながら適切な事業運営に努めてまいります。



長期給付事業 (厚生年金保険経理・退職等年金経理・経過的長期経理)

年金保険料率は、平成30年9月より91.5%に固定されております。

一方、年金給付については、昨年8月に「財政検証」の結果が公表されましたが、この結果を踏まえた年金制度改正が予想されますので、これらの情報を組合員の皆様方への丁寧な周知に努めてまいります。

保健事業

保健事業におきましては、「第二期データヘルス計画」が始動してから3年目となります。

特定健康診査・特定保健指導の実施率は、いずれも目標値とは乖離した状態にありますので、実施率向上の取組みを強化してまいります。

なお、昨年度から充実を図りました人間ドック、並びに脳ドック検査、インフルエンザ予防接種助成等についても、引き続き助成水準を維持してまいります。

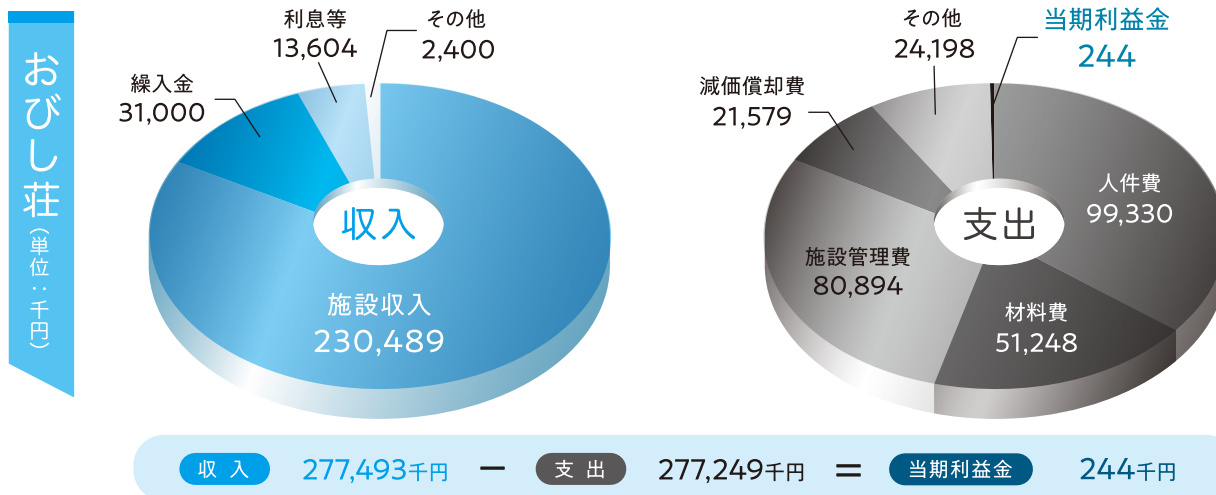
事業の種類

事業	予算額(千円)	概要	
保健	人間ドック検査助成	171,316	35歳以上の組合員と被扶養者を対象に検査料を助成する
	脳ドック検査助成	27,681	
	胃がん検診助成	2,880	組合員と被扶養者を対象に行う
	肺がん検診助成	4,600	組合員と被扶養者を対象に行う(喀痰 50歳以上、肺CT 40歳以上)
	大腸がん検診助成	1,650	40歳以上の組合員と被扶養者を対象に行う
	子宮がん検診助成	3,920	組合員と被扶養者を対象に行う
	乳がん検診助成	3,360	
	生活習慣病検診助成	7,140	40歳以上の組合員と被扶養者を対象に行う
	歯科健康診断助成	3,352	組合員と被扶養者を対象に行う
	C型肝炎ウイルス検査助成	880	40歳以上の組合員と被扶養者を対象に行う
	前立腺検査助成	660	50歳以上(男性)の組合員と被扶養者を対象に行う
	インフルエンザ予防接種助成	32,750	組合員と被扶養者を対象に行う
	こころとからだの健康相談	1,500	組合員と家族を対象に行う
	高リスク者保健指導	300	所属所が実施する検診で結果が高リスクな方を対象に面接保健指導を行う
	糖尿病重症化予防受診助成	600	糖尿病の検査値が基準外で医療機関未受診者を対象に文書による受診助成を行う
小計	262,589		
保養	保養所利用助成	61,100	おびし荘で3,500円、契約施設で2,000円を1人1回の利用につき助成する
	銀婚者祝福	3,221	銀婚式を迎えた組合員に保養所への招待または旅行券を贈る
	長期勤続退職者祝福	6,800	長期勤続退職者等他1名を保養所へ招待する
小計	71,121		
体育	体力づくり奨励費助成	5,655	組合員と家族を対象に、海の家1人入場料または席料、スキーリフト1人1,000円を助成する
	体育大会経費助成	400	組合員が参加する指定運動競技大会の経費を助成する
	小計	6,055	
その他	小学生学習体験教室費助成	2,100	組合員と小学生を対象に行う学習教室費用の一部を助成する
	健康管理講座費助成	2,000	組合員と被扶養者を対象とした健康づくりセミナー費用を助成する
	共済保健資料等配布費	3,500	保健に関する資料および共済事業の普及に関する資料等を配布する費用
	共済事業の普及費	8,010	血管年齢測定器 他
	医療費通知・後発医薬品差額通知	220	医療費増高対策にかかる費用
小計	15,830		
特定健康診査費	6,600	40歳以上75歳未満の被扶養者を対象とした健康診断費用等	
特定保健指導費	12,150	40歳以上75歳未満の組合員と被扶養者の健診結果に基づく指導対象者への保健指導費等	
訪問健康相談費	3,233	63歳以上74歳未満の組合員と被扶養者を対象とした訪問健康相談費用	
小計	21,983		
合計	377,578		

収入 362,117千円 — 支出 469,954千円 = 当期損失金 107,837千円

宿泊事業（おびし荘）

日頃から保養所「おびし荘」をご愛顧賜り、心から感謝申し上げます。
組合員とご家族の皆様が親しまれる施設として健全な経営を図り、利用者の皆様からのご意見を反映しながら、より一層のサービス向上に努めてまいります。



貯金事業

皆様からお預かりした資金について安全かつ効率的な運用を行い、組合員の生活の安定や財産づくりに寄与することを目的としています。本年度の利率は前年度に引き続き、年利1.0%（半年複利）を予定しています。超低金利のなか、市中金融機関の預貯金より有利な利息で還元しています。

区分	令和元年度 (見込)	令和2年度 (推計)	比較
貯金総額(千円)	51,190,421	54,195,500	3,005,079
貯金者数(人)	13,686	13,734	48
1人当たりの貯金額(千円)	3,740	3,946	206
加入率(%)	100	100	—

貸付事業

組合員の生活必需品や住宅の建築・購入、結婚や修学などの資金が必要な場合に貸付を行う事業です。

一昨年から貸付利率が大幅に引き下げられ、さらに利用しやすくなりましたので、ぜひご活用ください。

貸付金の状況

前年度末貸付残高	1,120,530千円
貸付額	162,700千円
償還額	292,482千円
本年度末貸付残高	990,748千円

種類	利率(%/年)	最高限度額(万円)	償還期間(回)	
普通貸付	1.26	200	36~120	
住宅貸付	1.26	1,800	132~264	
在宅介護対応住宅貸付	1.00	300	120~300	
災害貸付	家財	0.93	200	36~120
	住宅	0.93	1,800	120~360
	再貸付	0.93	1,900	120~360
特別貸付	医療	1.26	100	36~120
	入学	1.26	200	36~120
	修学	1.26	年180	150
	結婚	1.26	200	36~120
	葬祭	1.26	200	36~120
高額医療貸付	無利息	高額療養費相当額	—	
出産貸付	無利息	出産費・家族出産費相当額	—	